

音楽専科より 夏休みのお知らせ

<楽器をきれいにしよう>

●鍵盤ハーモニカ

楽器を柔らかい布でふき、ホースの点検をしましょう。

ホースは水洗いをして、かわかしてからします。

ホースが割れていたり、部品がとれやすくなっている場合は、新しいものを、お家のひとに用意してもらいましょう。

●リコーダー

口をつけるところと右手小指でトーンホールをおさえるところを外してリコーダーを3つの部品に分けます。

そして、洗面器などに水やぬるま湯に食器用洗剤を少し入れて、30分ほどつけ置き洗いをします。

つけ置き洗いの後は、水で洗い流して、外側・内側の水滴をタオルでふき取ります。内側は、そのまま日光の当たらない場所に置いて、自然乾燥をさせてケースにしまってください。

リコーダーをもとにもどす時には、接続部分にグリス(付属の固形油)を少しつけると入りやすいです。グリスがない場合は、夏休みの終わりに洗い、学校のグリスを付けることもできます。

宿題<リコーダーを復習しよう>

●今まで学習してきたリコーダーの指づかいを忘れないように、1週間に1～2回はリコーダーの練習をしましょう。家庭の事情で音が出せない場合は、①か②の方法で練習しましょう。

①ドレミで歌いながら指を動かす

②トウトウトとタンギングをしながら指を動かす

<4～6年生>

授業の最初に吹いていた「ドレミファソラシド レ ドシラソファミレド」の音階練習をしましょう。

今まで学習した曲を中心に、違うパートの音に挑戦したり、速さを変えてみるのもいいですね。

<3年生>

授業で学習した、「シラソ」の指づかいをかくにんしましょう。

指の真ん中でトーンホールをおさえることをいしきしましょう。

左手が上になることをわすれずに、かまえるようにしましょう。

――

保護者の方へ

鍵盤ハーモニカやリコーダーのお手入れは、児童だけでは難しい場面もあるので、適宜サポートをお願いします。

鍵盤ハーモニカのホースは、蛇腹の部分が伸び切っていてケースにしまえない場合や、穴が空いて演奏ができない場合がありますので、よく確認し、必要に応じて新しいものと交換してください。

また、低学年に弟妹がいる場合に、鍵盤ハーモニカを共有してよいかの質問をよくいただきます。5・6年生は、授業で鍵盤ハーモニカを使う機会が減りますので、共有は可能です。その際は、ホースだけは個人持ちになるようご準備ください。低学年と音楽の授業が重なった場合、音楽室にある予備の鍵盤ハーモニカを貸し出すことが可能となります。不明点やご質問が有りましたら、音楽専科担当までご連絡ください。

日頃より、様々な面でご配慮・ご協力くださりありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。